

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	肝細胞癌に対する開腹・腹腔鏡下肝切除術の長・短期成績の比較
	研究対象者	2019年1月から2023年12月まで肝細胞癌に対して外科的切除を施行した方。
	研究目的	肝細胞癌に対する腹腔鏡下・開腹手術の短期・長期成績を後方視的に比較検討すること短期成績として、臨床病期、腫瘍径、術後合併症、手術時間、出血量、術中輸液量、術後在院日数について比較を行う。長期成績として無再発生存、全生存期間を比較する。
	研究方法	臨床データを用いて臨床病理学的因子や予後について検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2024 年 6 月 17 日～西暦 2025 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 消化器外科（肝胆膵） 村川 正明
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	消化器外科（肝胆膵） 村川 正明 045(520)2222 利用停止のお申し出は2024年12月1日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	